

令和4年度 町政（まちづくり）懇談会

▶令和4年度町政（まちづくり）懇談会参加人数

日程	地域	参加者
11月8日(火)	札比内全域	9人
11月9日(水)	中和	6人
11月10日(木)	市北・北農場・赤川	11人
11月11日(金)	市南・南耕地昭栄・知来乙	9人

昨年、11月8日から11月11日にかけて、町内4会場で、令和4年度町政（まちづくり）懇談会を開催しました。

気兼ねなく意見を交換できるよう、町民の皆さんが町長を囲むように車座となり、町職員の出席人数と町からの説明事項を減らして開催しました。

懇談会の中で、会場にいられた方々からの質問、要望など主なものをまとめましたので、紹介します。

分類	質問・要望事項	現在までの対応状況	会場
交通	<p>■代替バスの利用状況について</p> <p>月形当別間のバスは、月形町に入るとバス停が少ない。バス停を増やすことはできないのか。</p>	<p>具体的なバス停設置の要望は随時受け付けており、町として事業者へ要望していきます。また、各バス路線の乗り継ぎが円滑となり、利便性が上がるよう、関係先と調整いたします。</p>	札比内コミュニティセンター
	<p>■代替バスと中央バスとの接続の調整について</p> <p>代替バスに乗って中央バスを利用して岩見沢に行く場合、時間のずれがあり利用しづらい。</p>	<p>関係事業者や自治体間の調整も必要となるため、時間は要しますが、次回ダイヤ改正時に可能な限り対応していきます。</p>	札比内コミュニティセンター・南地区広域集落会館
観光	<p>■皆楽公園について</p> <p>キャンプ客の利用するトイレが少ない。</p>	<p>道の駅の登録に伴い、24時間開放のトイレの設置が必要となりますので、設置後の使用状況も確認し対応いたします。</p>	札比内コミュニティセンター
教育	<p>■月形高校について</p> <p>月形町でしか受けられない授業の導入など何か特色を持たせないと入学者は増えないのではないのか。</p>	<p>道立高校なので町独自の取組を行うことは現状では困難です。</p>	南地区広域集落会館
	<p>■月形高校は維持できるのか。</p>	<p>栗山町の北海道介護福祉学校と協定を結び、月形高校から進学する生徒に入学金の優遇などを行っています。月形中学校の生徒が少なくっており、現状はなかなか厳しい状況です。</p>	多目的研修センター
	<p>■月形高校の情報発信について</p> <p>月形高校では、特色のある授業も多く取り入れているが、他の高校に無い優位性などをどの程度町外に発信できているのか。</p>	<p>札幌の有朋高校に遠隔授業の配信センターができており、その配信授業を受けることができます。そのような内容を入学案内のパンフレットに掲載し学校説明会や生徒募集活動でもPRをしています。次年度以降も入学案内やパンフレットの充実・変更を図っていきます。</p>	
農業	<p>■農業者の離農について</p> <p>農作業が機械化され人員がいらなくなっており、離農者が増えている。町としてどう考えているのか。</p>	<p>新規就農者の招致事業と合わせて、地域おこし協力隊制度も活用しながら、農業の担い手確保に向けて積極的に取り組んでまいります。</p>	南地区広域集落会館

分類	質問・要望事項	現在までの対応状況	会場
道路	■町道側溝の整備について 一部側溝が埋まっている場所がある。整備や清掃は考えていないのか。	道路巡視の過程で、ご指摘の場所を確認したところ、排水については正常に機能しております。今後も引き続き注視してまいります。	南地区広域 集落会館
道の駅	■道の駅について 道の駅は何年ごろ開設される予定なのか。	令和6年秋を目指し進めています。	
環境	■むつみ屋のスープ工場について むつみ屋のスープ工場は解体できないのか。景観を損ねる。	所有法人が存在せず解体依頼もできない状況です。解体費用が多額となるため、土地とともに国庫帰属後に解体できないか北海道財務局と協議しましたが、国での対応は不可能との回答を受けています。	南地区広域 集落会館・ 交 流 セ ン ター
広報 広聴	■イベントの周知方法について 自主的な活動を行う場合、イベントの周知方法が少ない。町のIPや広報を活用したいが内容によっては営利目的なので許可できないといわれる。	IPについては売り出しやセールの案内を営利目的として許可をしておりますが、まちづくりに該当するものについては、担当課の判断で利用可能としています。広報紙は折り込みなどの基準に基づきその状況により対応しています。皆さんが使いやすいようにさらに検討を重ねていきます。	交 流 セ ン ター
まちづ くり	■札比内駅舎のトイレについて トイレは壊すのか。	トイレは公衆トイレとして今後も残すこととしています。	札比内コ ミュニテ ィセンター
	■レストランの設置について 町内で食事をする場所が少ない。温泉施設の改修に合わせて食事ができる場所を設置するべき。	町内飲食店の確保とともに、来訪者や地域住民の集う場、温泉施設や宿泊施設との相乗効果、道の駅機能の充実を図って行くうえで、飲食サービスの提供による効果は大きいと、レストランの再開を目指す予定です。	南地区広域 集落会館
	■石狩月形駅舎について できれば駅舎は解体せずに残してほしい。鉄道は月形町の歴史でもあるので、何か形で残してほしい。	札沼線の歴史（レガシー）は後世に引き継いでいく必要があり、JR北海道から譲渡を受ける鉄道備品や当時の映像写真を活用した歴史コンテンツづくりを目指し検討します。なお、役場庁舎ホール、町民サロンに一部展示中です。	
	■札沼線跡地について 線路の撤去や整地についてJRとの協議はされているのか。鉄橋やレールの撤去など町で行うには莫大な費用がかかる。	JR北海道とは、鉄道用地の譲渡と鉄道施設の撤去委託について協議しており、必要な負担はJR北海道が行う予定です。	
	■札沼線跡地について 鉄道跡地について、農業者への現状での譲渡は可能か。	鉄道跡地の譲渡にあたって、レール、枕木、その他電気設備などを撤去し、形状などの変更は行わない形を条件で譲渡を進めています。ただし、レールなどの施設を残したままの譲渡希望があれば個別に協議し対応を検討します。	交 流 セ ン ター
	■温泉改修について 温泉の浴槽が深いと感じる。改修するのであれば浅めに改修できないか。	浴槽全体を作り替えることは困難ですが、浅い部分を拡張するなど、構造上可能な範囲で改修を検討します。	
	■改修期間中の温泉の利用について 温泉の改修期間中は温泉の利用はできないのか。利用できない場合、はな工房の浴槽を利用するなど代替案はないのか。	はな工房の宿泊者専用浴場については、冷暖房設備の改修や源泉の送湯、工事中の利用者の安全確保などを考慮し、使用しないことで考えています。そのため改修工事期間中の温泉利用は全て休止とする方向です。	
	■人口減少について 2,800人台になった人口をどう増やしていくのか。	新規就農者支援事業などを行っています。移住・定住につながる施策にも取り組んでまいります。	多目的研修 センター